

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2014年6月14日

仙台・六郷児童館 「うごく絵を作る」

簡単な作り方の説明のあと、集まったメンバーはそれぞれ作品づくりをスタートさせます。穴をあけるときに使う千枚通しは、こちらの心配をよそにみんな道具としてすぐに使いこなして、割りピンの使い方もバッチリ。簡単な下描きをして形を切り抜くひと。やみくもに形を切り出すひともあります。今回の六郷児童館では、なぜか、長く長く細く切った厚紙をつないで作品をつくったひとが目立ったこと。色の塗り方などはみんなそれぞれ、個性的な仕上がりです。いつも人気の昆虫は、今回はなぜかカブトムシー匹だけ。

なかでも秀逸だったのは、このワークショップ初、両面に絵を描いて作品をつくった女の子。赤い色の汽車は水色の窓。煙を吐いてシュッシュッポッポ。車輪の数を足りなくつくってしまって、あわてて描かたしましたが、モールでなんとレールまでこしらえて完成となりました。

もうひとりの達人は、丸シールを黙々と貼りつけて、ミッキーマウスらしき動く絵をつくっていた男の子。シールで埋め尽くされていたときは、なんだか草間弥生っぽいなあ。などと思っていたら、そこからまた展開して、顔の部分には白いシールの折り紙を貼り足して、目鼻口を仕上げ、キラキラのスパンコールなどもプラスアルファ。なんともはやグレードの高い見事な出来ばえとなったのでした。

ほかにも動物や車などたくさんの作品ができあがった、今回の「動く絵をつくる」。お迎えが来ても、なかなか仕事がやめられずお母さんを待たせた子も何人か。この時間を楽しんでいただけなこと、光栄の限りです。

